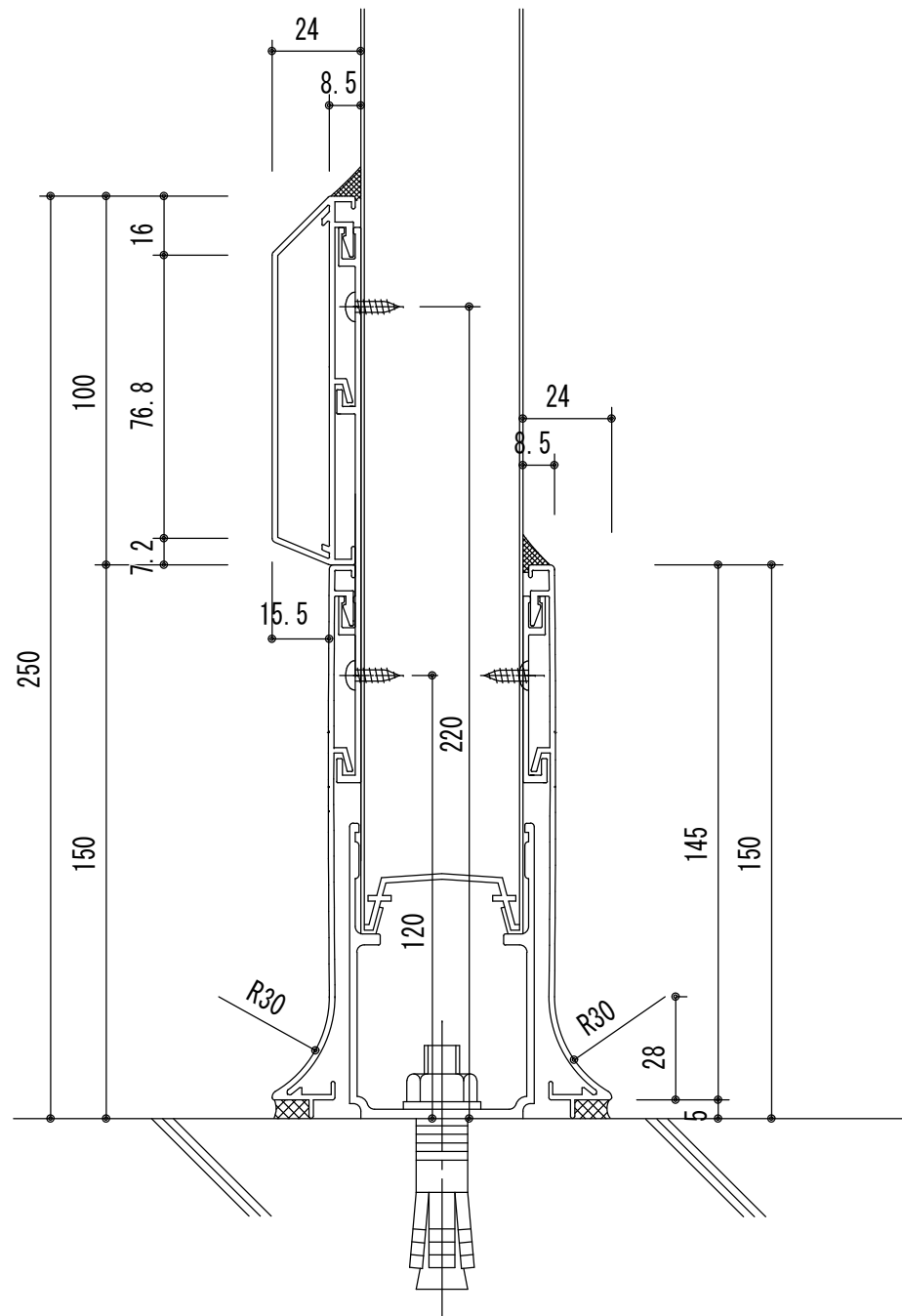


R30H150+台車ガード

- ※ アルミ
- ※ SUS

R30H150

- ※ アルミ
- ※ SUS

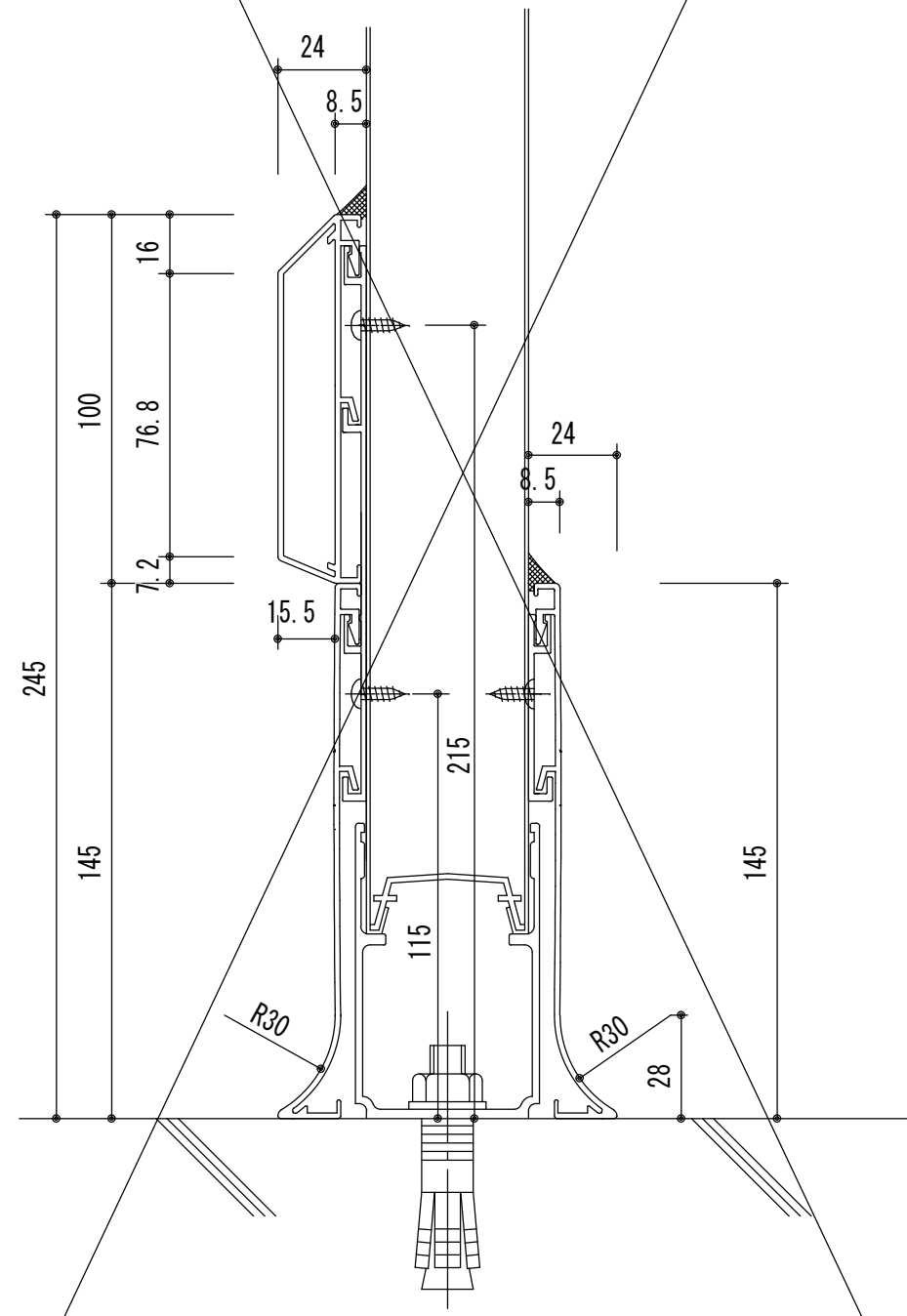


R30H145+台車ガード

- ※ アルミ
- ※ SUS

R30H145

- ※ アルミ
- ※ SUS

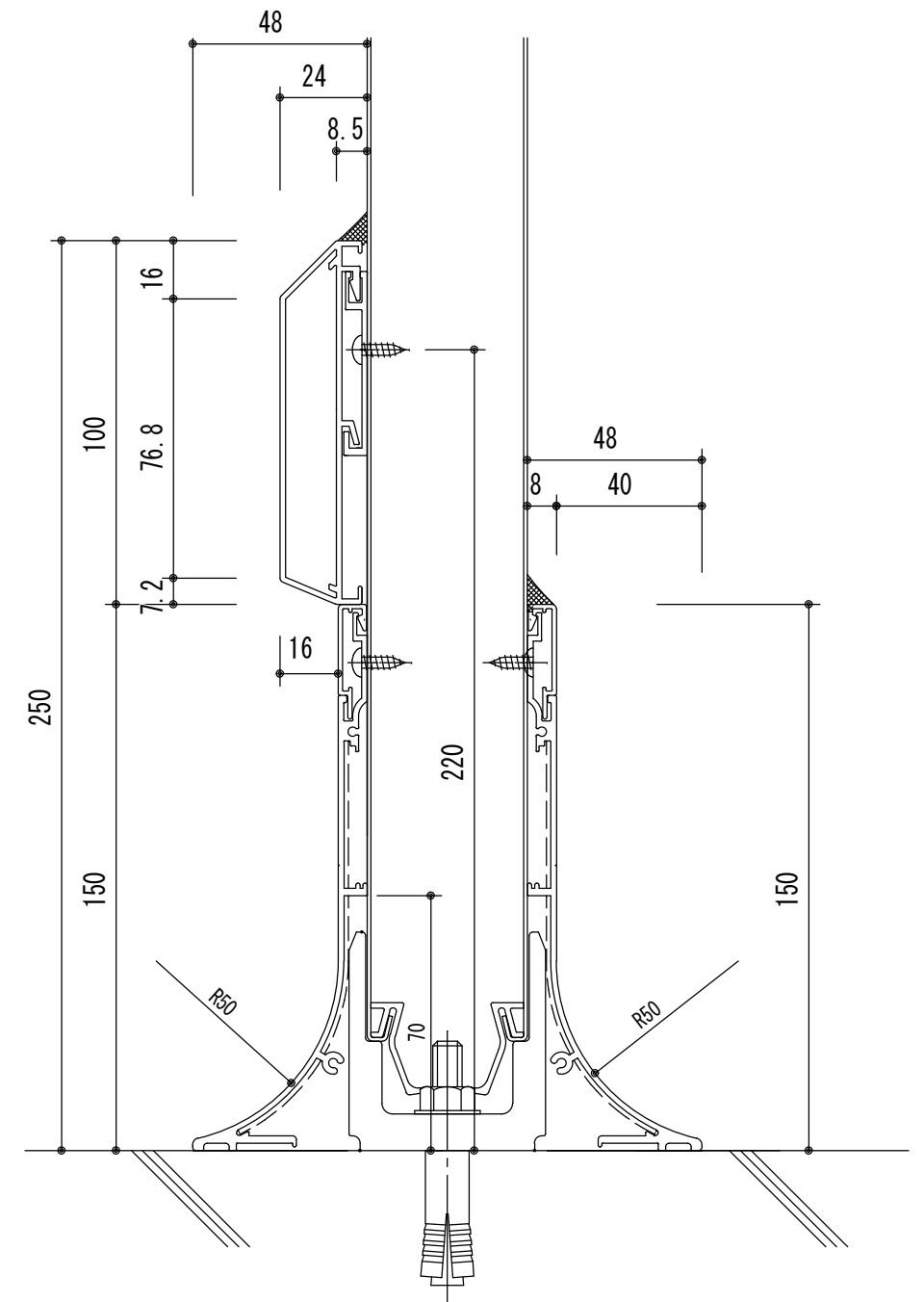


R50H150+台車ガード

- ※ アルミ

R50H150

- ※ アルミ

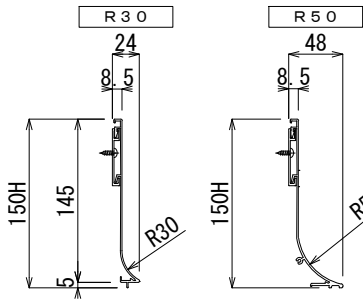


※ 樹脂ベース用（AKベースの場合はR30を御使用ください。）

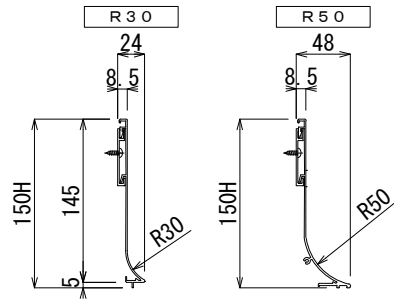
R巾木施工要領書(アルミ・ステンレス共通)

HACCP対応

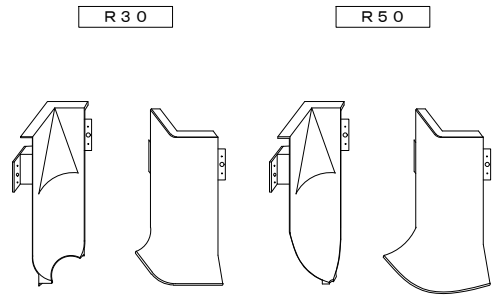
アルミR巾木
【アルミ押出型材A6063S-T5
アルミクリア仕上げ(ツヤ有)】



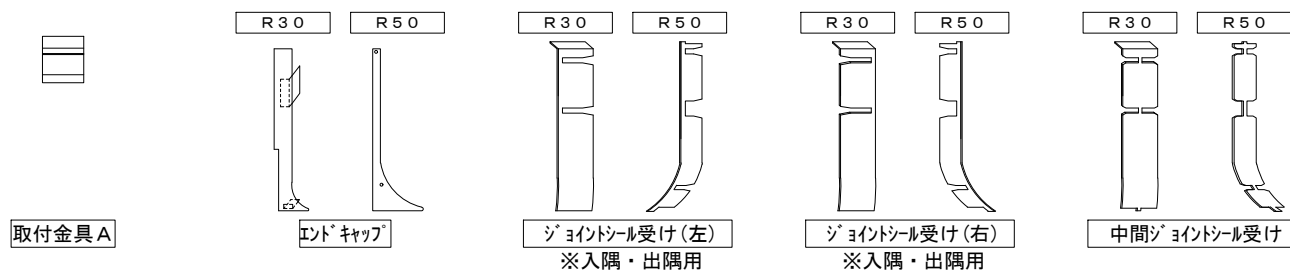
ステンレス箔貼R巾木
【アルミ押出型材A6063S-T5
特殊加工ステンレス箔(t=0.15mm)】



入隅・出隅R巾木(アルミ/ステンレス共通)
【アルミダイキャスト成形品(焼付塗装)
(アルミ類似色/ステンレス類似色仕上げ)】

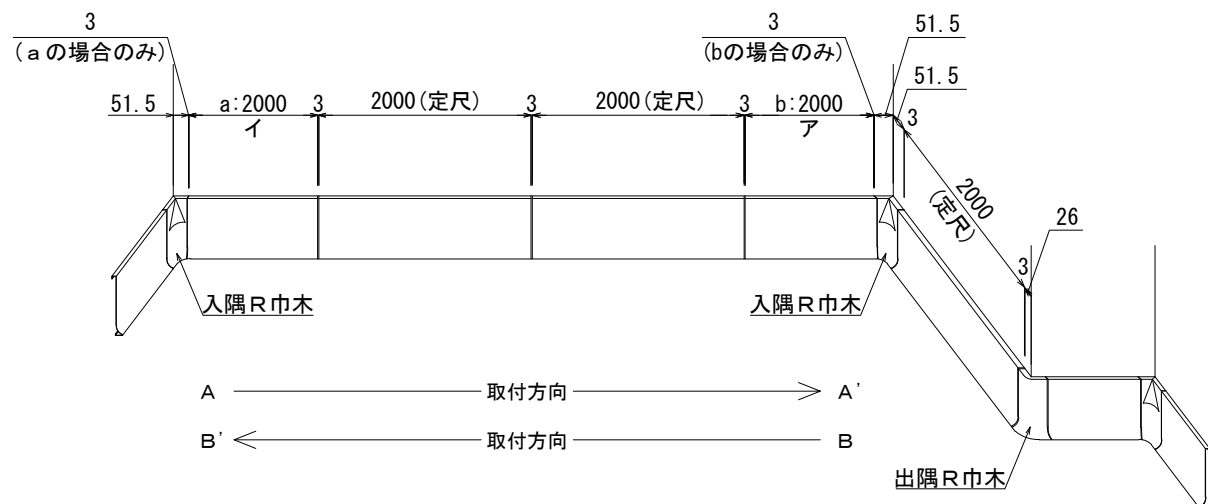


■ 部材 ■

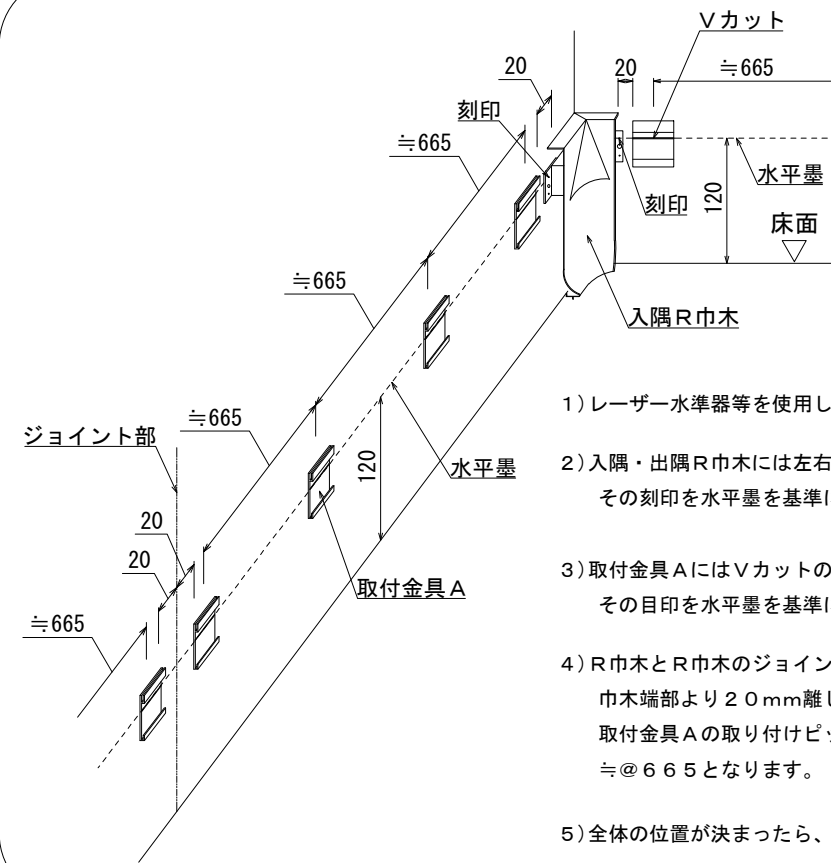


【 1. R巾木の割り付け 】

- R巾木には、入隅R巾木・出隅R巾木・L=2000(定尺)の3種類があります。
- 入隅R巾木は、壁のコーナーよりL=51.5mm(製品寸法:L=50mm)、
出隅R巾木は、壁のコーナーよりL=26mm(製品寸法:L=50mm)が、製品の端部の位置となります。
- 壁のコーナー間の寸法調整は、入隅・出隅R巾木の横のR巾木を切断して調整して下さい。
 ① A→A'方向に取り付ける場合は、ア=調整寸法
 ② B'←B方向に取り付ける場合は、イ=調整寸法
- R巾木とR巾木間の目地巾が均等に3mmになる様にして下さい。

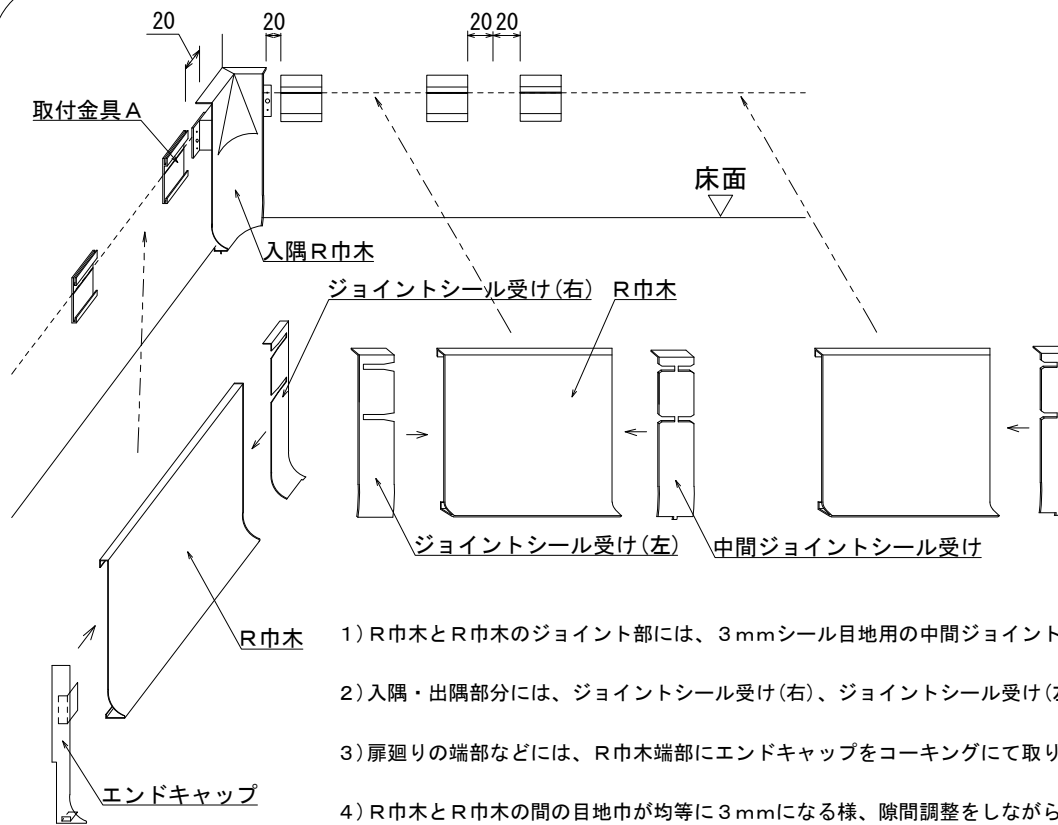


【 2. 入隅・出隅R巾木および取付金具Aの取り付け 】



- レーザー水準器等を使用して、床面より120mm上部に水平墨を打ちます。
- 入隅・出隅R巾木には左右に刻印がありますので、その刻印を水平墨を基準に、両面テープを使用して仮付けをします。
- 取付金具AにはVカットの目印がありますので、その目印を水平墨を基準に、同様に両面テープを使用して仮付けをします。
- R巾木とR巾木のジョイント部には、中間ジョイントシール受けを使用しますので、巾木端部より20mm離れた位置に、取付金具Aを取り付けます。
取付金具Aの取り付けピッチはL=2000(定尺)に対して≒@665となります。
- 全体の位置が決まったら、ナベドリルネジ(M4)にて、本締めをして下さい。

【 3. R巾木の取り付け 】



- R巾木とR巾木のジョイント部には、3mmシール目地用の中間ジョイントシール受けを使用します。
- 入隅・出隅部分には、ジョイントシール受け(右)、ジョイントシール受け(左)を使用します。
- 扉廻りの端部などには、R巾木端部にエンドキャップをコーキングにて取り付けます。
- R巾木とR巾木間の目地巾が均等に3mmになる様、隙間調整をしながら、R巾木上部の凸部と、取付金具A上部の凹部を合せ、上から下に押し込んで吻合させて下さい。
- 最後に、必要があればR巾木の上下・継ぎ目にコーキングをして下さい。